

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年8月14日

【四半期会計期間】 第41期第1四半期(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

【会社名】 株式会社安楽亭

【英訳名】 ANRAKUTEI Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 柳 時機

【本店の所在の場所】 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番5号

【電話番号】 048-859-0555(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 安部 一夫

【最寄りの連絡場所】 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番5号

【電話番号】 048-859-0555(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 安部 一夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第40期 第1四半期 連結累計期間	第41期 第1四半期 連結累計期間	第40期
	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
売上高 (千円)	4,218,619	4,150,744	16,947,306
経常利益 (千円)	112,491	88,286	320,438
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	84,855	40,883	149,275
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	87,201	39,463	151,502
純資産額 (千円)	6,184,634	6,287,337	6,248,017
総資産額 (千円)	15,422,370	15,138,326	15,467,426
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	39.68	19.12	69.80
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	40.1	41.5	40.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移する一方で、可処分所得の伸び悩みを反映し、個人消費は力強さに欠ける状況となりました。また、海外では米国発の貿易摩擦懸念から、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、原材料価格の高止まりや人手不足を背景とした人件費高騰に加え、消費者の生活防衛意識による節約志向の高まりから、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高41億50百万円（対前年同期比1.6%減）、営業利益92百万円（対前年同期比20.5%減）、経常利益88百万円（対前年同期比21.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円（対前年同期比51.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は188店舗であります。内訳は直営144店舗、暖簾12店舗、F C 32店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「春満開！るんるん宝くじ」、「とろ～りチーズと韓国グルメフェア」、「リッチな甘みのいちご&チョコスイーツフェア」、「映画『焼肉ドラゴン』コラボフェア」、「飲み放題キャンペーン！2,980円」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は34億50百万円（対前年同期比1.4%減）となり、セグメント利益（営業利益）は2億1百万円（対前年同期比16.7%減）となりました。

七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は27店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾2店舗、F C 2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「新生活応援フェア」、「七輪房だからできる、上質な国産牛の食べ放題」、「毎月27日を含む週は七輪房の日！スペシャルクーポン配信」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は5億98百万円（対前年同期比5.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は44百万円（対前年同期比14.4%減）となりました。

その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、F C 5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「ロンチャン（中華）」、「AGRIC（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億2百万円（対前年同期比32.6%減）となり、セグメント損失（営業損失）は2百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億29百万円減少し、151億38百万円となりました。これは、借入金の返済による現金及び預金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ3億68百万円減少し、88億50百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、62億87百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等が要因です。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,150,434	2,150,434	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株 あります。
計	2,150,434	2,150,434		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年4月1日～ 平成30年6月30日		2,150,434		3,182,385		147,735

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成30年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 11,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,125,500	21,255	
単元未満株式	普通株式 13,034		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	2,150,434		
総株主の議決権		21,255	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式85株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社安楽亭	埼玉県さいたま市中央区 上落合2-3-5	11,900		11,900	0.56
計		11,900		11,900	0.56

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人アヴァンティアによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,865,547	2,646,265
受取手形及び売掛金	415,774	348,713
商品及び製品	133,869	135,434
仕掛品	854	732
原材料及び貯蔵品	475,929	556,651
前払費用	202,916	210,553
その他	96,727	95,200
貸倒引当金	226	219
流動資産合計	4,191,392	3,993,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,880,068	2,821,663
機械装置及び運搬具（純額）	100,151	99,721
工具、器具及び備品（純額）	355,084	343,328
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産（純額）	54,545	44,762
建設仮勘定	2,255	2,855
有形固定資産合計	8,396,029	8,316,255
無形固定資産		
のれん	54,460	51,056
その他	131,862	132,056
無形固定資産合計	186,322	183,112
投資その他の資産		
投資有価証券	94,931	92,070
長期貸付金	6,377	6,276
長期前払費用	21,149	19,168
繰延税金資産	142,875	116,124
敷金及び保証金	2,416,304	2,400,518
その他	38,333	37,708
貸倒引当金	26,289	26,238
投資その他の資産合計	2,693,682	2,645,628
固定資産合計	11,276,033	11,144,996
資産合計	15,467,426	15,138,326

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,620	611,451
短期借入金	901,818	929,916
リース債務	40,802	38,737
割賦未払金	188,346	184,422
未払金	169,967	190,705
設備関係未払金	75,226	22,631
未払費用	506,328	533,934
未払法人税等	149,631	44,108
未払消費税等	126,076	128,314
賞与引当金	72,800	41,529
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	569,890	487,102
流動負債合計	3,438,806	3,226,152
固定負債		
長期借入金	4,367,797	4,264,503
リース債務	16,786	8,395
長期割賦未払金	577,561	534,243
繰延税金負債	105,383	106,190
役員退職慰労引当金	351,481	356,521
転貸損失引当金	49,430	46,106
退職給付に係る負債	213,628	213,842
その他	98,534	95,034
固定負債合計	5,780,602	5,624,836
負債合計	9,219,409	8,850,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	599,159	640,042
自己株式	70,998	70,998
株主資本合計	6,247,807	6,288,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	1,707
為替換算調整勘定		354
その他の包括利益累計額合計	209	1,353
純資産合計	6,248,017	6,287,337
負債純資産合計	15,467,426	15,138,326

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,218,619	4,150,744
売上原価	1,514,571	1,521,323
売上総利益	2,704,047	2,629,421
販売費及び一般管理費	2,588,203	2,537,283
営業利益	115,844	92,137
営業外収益		
受取利息	413	349
受取配当金	1,109	1,095
受取地代家賃	1,722	1,863
貸倒引当金戻入額	186	57
その他	15,396	12,765
営業外収益合計	18,829	16,132
営業外費用		
支払利息	19,313	17,584
その他	2,867	2,398
営業外費用合計	22,181	19,982
経常利益	112,491	88,286
特別損失		
固定資産除却損	403	
賃貸借契約解約損	3,182	1,556
訴訟和解金	5,000	2,050
特別損失合計	8,585	3,606
税金等調整前四半期純利益	103,906	84,680
法人税、住民税及び事業税	16,578	17,046
法人税等調整額	2,471	26,750
法人税等合計	19,050	43,797
四半期純利益	84,855	40,883
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,855	40,883

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	84,855	40,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,346	1,917
為替換算調整勘定		497
その他の包括利益合計	2,346	1,420
四半期包括利益	87,201	39,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,201	39,463

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した安楽亭ベトナム有限責任会社を連結の範囲に含めておりません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
減価償却費	146,344千円	140,337千円
のれんの償却額	3,403千円	3,403千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,499,692	567,436	151,489	4,218,619	4,218,619		4,218,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	3,499,692	567,436	151,489	4,218,619	4,218,619		4,218,619
セグメント利益又は 損失()	241,945	51,942	11,753	282,134	282,134	166,290	115,844

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、日総開発(株)から1店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては37,666千円であります。

「その他業態」セグメントにおいて、日総開発(株)から2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては30,408千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744		4,150,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	3,450,144	598,561	102,038	4,150,744	4,150,744		4,150,744
セグメント利益又は 損失()	201,571	44,480	2,118	243,933	243,933	151,796	92,137

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
1株当たり四半期純利益	39円68銭	19円12銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	84,855	40,883
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	84,855	40,883
普通株式の期中平均株式数(株)	2,138,642	2,138,449

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年 8月14日

株式会社 安楽亭
取締役会 御中

監査法人アヴァンティア

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小 笠 原 直 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 木 村 直 人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社安楽亭の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社安楽亭及び連結子会社の平成30年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。